

専門教育科目

講義科目

基本/OCR

授業科目名	文化人類学の思考法	科目コード	配当年次	単位
担当教員	玉置 真紀子	AA62	2	2

科目の概要

文化人類学は、一見、無関係に見えることを比較対象にし、私たちが「常識」だと信じる物事の切り分け方とは違う枠組みで考える。それにより文化の多様性を理解することを目指す学問である。本科目では、現代社会の「あたりまえ」を「ちょっと待って、本当にそうなの？」と問い直す人類学的な考え方について、様々なテーマで解説する。文化人類学的に思考することで、新しい「ものの見方」を手に入れよう。

科目の到達目標

- ①文化人類学的な「ものの見方」が理解できる。
- ②現代社会の様々な課題について考えることができる。

テキスト 『文化人類学の思考法』松村 圭一郎 他(編),世界思想社,2019年

テキストの読み方

- テキストは、三部構成で書かれている。
- ①第Ⅰ部は「私たちの世界の基盤をなしている区分けを文化人類学的に見直すこと」が試みられている。
 - ②第Ⅱ部では、「私たちの世界にすでにあるものがどのように生成しているのか」について文化人類学的に見直すことが試みられている。
 - ③第Ⅲ部では、「人が集団のなかで生きていくことの意味を考えていく」ことが記されている。学生は、日々の暮らしの中の「あたりまえ」から外にでる人類学的思考法を読み取ることが望まれる。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。